

## 広報・プレス対応における感染予防ガイドライン

令和3年3月31日

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会  
日本パラリンピック委員会

### 1 はじめに

本ガイドラインは、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」をもとに、JPSAが行う広報、プレス対応活動における新型コロナ感染予防策に関して基本的に留意することをまとめたものです。

競技大会・イベント等においては、NTCなど会場・施設のルールに準じるとともに、関連する競技団体と調整をし、状況に応じて最適な方法で感染予防策を実施します。

なお、本ガイドラインは、今後の状況をふまえて逐次見直すことがあります。

### 2 広報・プレス対応における感染予防の基本的考え方について

JPSAは、主催する競技大会・イベント・会議等の特性や選手の状況等を勘案して、広報・プレス対応活動における感染防止のために自らが実施すべき事項や、選手・コーチ・スタッフ、記者等の取材者に遵守いただきたい事項を以下のとおり定めます。

### 3 感染防止策について

#### 3-1 競技大会における取材対応

競技大会の取材において感染防止のために記者等取材者に遵守いただきたい事項は以下のとおりです。これらの内容は取材案内時に周知します。

これを遵守できない取材者には、選手や他の取材者の安全を確保する等の観点から取材を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

#### (1) 大会前の対応

① 以下の事項に該当する場合は、自主的に取材を見合わせること。

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染者がいる、または感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてい

る国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- ② マスクについては、メディアの方で各自用意してもらう
- ③ 大会2週間前から毎日の体温測定を行い、記録シート（体調チェックシート）を提出すること
- ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

## （2）大会当日 受付

- ① 受付にて検温を行う。37.5度以上の場合は入場不可とする。
- ② 手指消毒を行う。
- ③ 入場前からマスクを常時着用する
- ③ 軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は入場させない。
- ④ 受付デスクにアクリル板、透明ビニールカーテンなどを設置する。
- ⑤ 参加者が距離をおいて（最低1m）並べるように目印の設置等を行う。
- ⑥ 受付を行うスタッフは、マスク（※）を着用する。

（※）聴覚障がいがある方への対応をする場合等は、フェイスシールド等の着用も対応する。

- ⑦ ビブス等、身に着ける識別物を使用する場合、複数での使いまわしをしない。
- ⑧ 配布資料等は、手渡しを極力避け、可能な限りインターネット等を活用する。

## ※体調の確認について

体調確認の具体的な方法は、大会・イベント等の特性に合わせて、その都度様式・項目等を調整する

原則として、大会当日に、取材者から以下の情報を、保存できる形で提出を求める。

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）  
※個人情報の取扱いに十分注意する。また、これらの事項は、取材申請時に登録を求めることもある。
- ② 大会当日の体温
- ③ 大会2週間前からの以下の事項の有無
  - ア 平熱を超える発熱
  - イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
  - ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
  - エ 嗅覚や味覚の異常
  - オ 体が重く感じる、疲れやすい等
  - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
  - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ク 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

### (3) プレス控室

- ① 広さにはゆとりを持たせ、密になることを避ける。
- ② 入室する人数を制限する。
- ③ 着席の間隔を最低 1 m あける
- ③ 室内で複数の人が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒する。
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。
- ⑤ 原則として控室内での食事中の会話を禁止する。（大会会場等の状況に応じて判断）

### (4) 撮影エリア

- ① 広さにはゆとりを持たせて、ゾーニングをする
- ② エリア内の人数、カメラ台数を制限する
- ③ 撮影ポジションは、ソーシャルディスタンスに配慮して、できるだけ間隔を空ける

### (5) 記者席

- ① 広さにはゆとりを持たせて、ゾーニングをする
- ② エリア内の人数を制限する
- ③ 座席は隣との間を 1 席空ける

### (6) ミックスゾーン

- ① 広さにはゆとりを持たせて、インタビュー対象者（選手等）、ペン記者、カメラ（ムービー、スチール）のゾーニングをする  
※インタビュー対象者と記者等との距離を原則 3～4m とする
- ② エリア内の人数を制限する
- ③ インタビュー対象者の前にアクリル板や透明ビニールカーテン等を設置する
- ④ マイクを使用する場合は、こまめに消毒する
- ⑤ 密を避けるため、オンライン取材を必要に応じて組み入れる
- ⑥ インタビュー対象者のマスク着用については状況に応じて判断する

### (7) 記者への情報提供・連絡

- ① リザルト・スタッツの提供は主としてオンラインを活用する

- ② 記者への随時の連絡はeメールなどを適宜活用する
- ③ 人数制限のため大会会場で観戦できない記者に対し、中継映像の閲覧を推奨する

#### (8) 個別取材

- ① 原則として、会場での個別取材は受け付けない

### 3-2 通常の取材対応

#### (1) 記者会見

対面による取材を基本とし、原則として、前記の大会時ミックスゾーンでの対応に準じるものとする。

検温、体調確認等も原則として大会時の対応に準じて行う。

#### (2) 会議等の事後取材対応

対面による囲み取材を基本とし、大会時ミックスゾーンでの対応をふまえて、会場・施設の状況により判断する。

#### (3) 個別取材

対面による取材の場合は、検温、体調確認を行う。

また、適宜、オンライン取材を活用する。

### 4. その他の留意事項

上記の感染防止策については、取材告知・案内、取材申請時に、対象となる記者等取材者に連絡をし、感染予防策の徹底を図る。

また、取材者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合の対応方針については、別途、関係機関と協議をして決定する。

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、取材当日に取材者より提出を求めた情報（前記）について、保存期間（少なくとも1か月以上）を定めて保存する。

(以上)